



「夢実現」～可能性は無限～

大矢野中
学校だより

令和7年度 第30号 令和8年2月27日(金) 文責 校長 松田 真也

3年生の受検が進み、およそ三分の二の進学先が決まりました。残り三分の一の進路もしっかりと決まることを祈っています。そんな時期に1, 2年生でも**将来**や**進路**、そして**夢**や**目標**について考える取組が行われました。身近な上天草高校の先生方や卒業生の生(なま)の話聞き、刺激を受けたようです。暖かい日差しに草木が芽吹くように、温かいお話に将来への思いがムクムクと湧き出てきたようです。

そして、**3年生の卒業式**まで、あと1週間です。1日1日が愛おしく感じられます。無限の可能性を持つ大中学生の夢が見え始め、同時に寂しさも漂う2月下旬の大矢野中の様子をお伝えします。



我が家の枝垂れ梅

2/19 「ようこそ先輩」～努力する事の素晴らしさを語る～

1年生の総合的な学習の時間に、上天草高校3年生の「**川瀬かつら**」さんが、ゲストとして本校に来てくれました。川瀬かつらさんは、中南小学校の出身で、本校の卒業生でもあり、ウエイトリフティングで日本一にも輝いた上天草・大矢野の誇りです。大学進学も決め、今回は、本校の1年生のために、1年生の質問に答える形で、話をしてくれました。

【川瀬かつらさんのお話から】

- ・まず、大きな目標を立てる。そして、それに近づくために小さな目標を一つずつ達成していく。
- ・日々の練習の中で大切なのは「雑にならない」こと。
- ・あきらめないこと。継続は力なり。
- ・後悔しないために全力を出すこと。
- ・上手くいかないときは、上手くいった後のことを考える。(上手くいったときの喜びをモチベーションにする)
- ・とにかく、いろいろ挑戦してみる。失敗を恐れない。
- ・試合前は、試合のことだけに集中する。

【1年生の感想から】(抜粋)

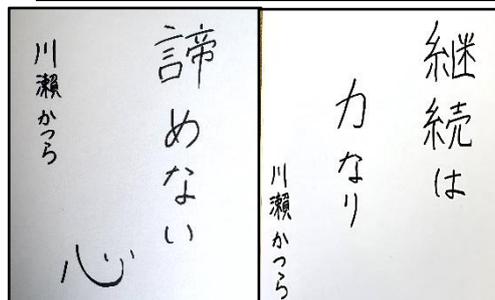
- ・僕も将来や夢・目標について考えることができました。
- ・自分も具体的に目標を立てて、それに向かって努力を積み重ねていきたいと思いました。
- ・私もかつらさんのようにこつこつ練習してタイムを更新していきたいです。
- ・私は苦手なことや面倒なことは、後回しにしたり、あきらめたりすることが多いけど、川瀬さんの話を聞いて頑張ろうと思いました。

小学校1年生の時、6年生の川瀬さんにお世話になった者もいます。互いに成長し、頑張っている先輩の話をしっかり受け止め、自分もさらに成長していきたいと思ってくれたようです。川瀬さんのご活躍とともに、大中学生の「**夢実現**」を見守り、応援し続けたいと思います。



↑ 1年生のたくさんの質問に丁寧に答えてくれた川瀬さん

↓川瀬さんを書いてもらった色紙↓



2/10 上天草高校出前講座を開催！！～高校で何を学ぶのか～

2年生の総合的な学習の時間には、高校とはどんなことを学ぶのか、一番近くにあり、先輩もたくさん通っている「上天草高校」から3人の先生方にお越しいただき、「出前授業」として、2年生に詳しく説明していただきました。

各高校に様々な科やコースがあり、専門的で高いレベルの技術や知識を学ぶのが高校です。そのために、どんな教科をどれだけ学ぶのかというカリキュラムがそれぞれで違います。

上天草高校にある科を例にとると、

○普通科では、大学や専門学校への進学、そして就職に向け、幅広く学びます。上天草高校には文系と理系の両方を学びながら進学の方向を考えられる文理融合のグローバルコースがあります。

○情報会計科は、商業関係の簿記・会計はもちろん、パソコンによる情報会計処理なども学びます。地元に残り、地域活性化に取り組む人材も育成しています。

○福祉科は、福祉や介護に関する資格取得はもちろん、実技演習や現場実習を通して、お年寄りや障害を持つ人に優しく寄り添える人材を育成します。

他にも、県内の高校には、農業、工業、商業、水産、家庭、芸術、スポーツなど、様々な学科やコースがたくさんあります。1、2年生は、右のような本を見て、じっくりと高校選択を考えてみましょう。将来を見据えて、または、現在興味があるものを基に、何を学ぶために、どの高校の、どの科やコースに行きたいのか、目的意識をしっかりとって入学してほしいと、高校の先生はおっしゃいます。

目的がはっきりすれば、これから（中学校で）やるべきことも、はっきりしてきます。学力とつけるべき力をつけていく努力ができるでしょう。



詳しく説明してくださった上天草高校の3人の先生方



2/26 薬物乱用防止教室 ～誘惑に負けない、正しい知識で～

学校薬剤師（ヒカリ調剤薬局）の何川彰悟先生を講師としてお招きし、「薬物乱用防止教室」を開催しました。

薬物乱用による健康被害が、近年は低年齢化し、中学生にもおよんでいます。防止するには、その恐ろしさ・被害を正しく知り、自分で制御できることが大切です。今回は、薬物を中心に、その種類や怖さ・健康被害についてお話しいただきました。

法で禁止されている薬物は、軽はずみに手を出すと取り返しがつかないこととなります。特に合成麻薬やゾンビタバコなどは、世界的な問題になっています。市販の薬でも、過剰摂取・オーバードーズは、命に関わる怖いものです。

ネットなどの甘い言葉に誘惑され、健康も、お金も、人生も奪われてしまった人がいます。成長期である若い世代ほど、健康被害も大きいです。未成年には、酒やタバコも、脳や内臓、そして成長に悪影響が出てしまいます。正しい知識を持ち、「だから絶対ダメだ」「私は絶対しない」と自制できてほしいと思います。

酒やタバコ、薬物は、基本的には、中学生には販売されないはずですが。周囲の大人が守ってやりたいものです。



薬物の怖さなどを説明してくださった何川先生 ↑ と質問する生徒 ↓

